

2) 禁煙支援

(1) 世界禁煙デーのイベント

ピアサポーターが中心となって世界禁煙デーと禁煙週間の活動を列記しました。のべ55人の力でやり遂げました。

- 5月14日 禁煙デー禁煙週間活動について話し合い
- 5月20～22日 アイデア整理と実施計画の話し合い
- 5月25～28日 テーブル用ポスター作成とパネル作成
- 5月28日 中央・農学部・工学部の各食堂テーブルにポスター貼付
- 6月2日・3日・5日 大学周辺のごみ拾い



禁煙デーポスター作製



食堂テーブルへポスター貼りつけ作業



大学周辺のごみ拾い活動

(2) 禁煙支援数

2006年6月から禁煙支援者の1年後の喫煙の有無を確認してそれを1年禁煙率とした。

年 度	学 生		職 員		合計	1年禁煙率
	男	女	男	女		
2009年度	21	4	2	0	27	6/13 46.2%

回答を得られた者を分母として禁煙率を算出した。 2011/3現在

1. 活動内容

- ① 吸殻拾い（6月2日、3日、5日）
工学部敷地周辺、農学部敷地周辺、正門付近の3箇所をメインに決め、吸殻拾いを行った。また、歩きながら目についたごみも同時に拾った。
- ② 各食堂に禁煙を呼びかけるポスターの展示（禁煙週間終了後も、1週間継続掲示）
店長さんの協力を得て、中央食堂、工学部食堂、農学部食堂のテーブルに、禁煙を呼びかけるポスターを貼らせていただいた。ポスターの画像は、昨年までピアサポーターとして在籍していらしゃった斉藤さんからいただいた画像と、昨年まで使用していたもの、予防医学協会が作成したものを利用した。
- ③ たばこの着ぐるみ・パネル展示（ホケカン前に）
昨年使用したたばこの着ぐるみをホケカン前に展示した。また、食堂に貼ったポスターをパネルにまとめ、同時に展示した。

2. 活動した上での感想

- ・初日に工学部の周りを歩いたが、思ったよりも吸殻は少なかった。また、門付近は吸い殻が多く、敷地内の駐輪所でも吸い殻があった。
- ・もう少し新しいことができればよかった。
- ・建物に隠れてタバコを吸っている人がいるようだが、隠れて吸っているということは、それなりの圧力になっているのではと感じた。
- ・パネル展示は、様々な場所に貼ったことから、禁煙しようと呼びかけすることが出来たのではないかと思う。タバコ拾いのときに、いくつかタバコやゴミが落ちており、地域に貢献することも大学の一つの在り方なのではないかと感じた。
- ・中食、農食、工食にポスターを貼り、チラシで配るよりも多くのひとに見てもらえることが出来たのではないかと思う。チラシだともらっても捨ててしまうことが多いので、資源の節約にもつながった気がする。

3. 反省点

- ・吸い殻やゴミ拾いのときに、マナーアップ啓発の声掛けがセットで出来れば良いのではないかと思った。
- ・前もってもっときちんと計画を立てたり、みんなの意見を聞いたりできれば良かった。
- ・活動するにあたり、リーダーに負担が掛かり過ぎた。エイズ検査普及週間と期間がかぶってしまった。
- ・がんばって着ぐるみ作りをしてみればよかったかなあと思った。また、作業する際に積極的にみんなに声かけをすればよかった。

4. 来年度に向けて

- ・吸い殻拾いプラスでマナーアップ啓発活動も同時に行えたら良いのではないか。
- ・人数次第ではあるが、もっと大々的に禁煙デー、禁煙週間をアピール出来れば良いのではないか。
- ・リーダーがみんなに仕事を振り分け、他の人もリーダーに仕事はないか積極的に聞く。
- ・エイズ検査普及週間の展示場所と禁煙週間の展示場所をあらかじめ決めておき、どちらも目立つ所におく。
- ・企業の取り組みの中で、喫煙者が厳しい立場におわれている現状を伝えてみる。

5. まとめ

今回の禁煙週間では、立身先生がおっしゃっていたように斬新な企画を、と思っていたが、なかなかそれは難しく、例年通りの活動しか出来なかった。しかし、十分に禁煙週間についてアピールできたように思う。

吸殻拾いでは、やはり構内よりも門から一步出た場所に落ちているものが多く目についた。また、それ以上に気になったのは落ちているごみの多さであった。感想にもあったように、吸殻拾いプラスごみ拾いをする事で、大学のみならず地域に貢献することができそうである。

また、各食堂に貼ったポスターも、多くの学生が利用する場所であることによって、より多くの人の注意をひくことができたかと思う。

感想の中から来年度の活動につなげられる点として出てきたのは、吸殻拾いをしながら、喫煙している学生に声かけを行い、禁煙を促すことである。ただし、声をかけづらいという難点があるので、そこは課題である。この他にも、意見を出し合って考えたなら、よりよく新しい活動ができるかと思う。

そこで、今年も含め、これまでの禁煙週間の活動を参考に、来年度は、より斬新で、より学生の心に訴えかけるような企画が実施されればと思う。（木村）

今回は初めて参加した禁煙週間で、戸惑うことばかりだったが、何とかうまく出来たと思う。前年と同じようなことしか出来なかったが、みんなにアピールできた。しかし、新しいことをしようと思っても様々な制約がかかってしまい、思うような活動が出来なかったのは少し残念だった。今後は、出来ることと出来ないことの折り合いをきちんとつけていかなければならないと感じた。

また、今回はESDの活動期間（チラシ配りなど）とも期間がかぶってしまったので、少し禁煙週間の活動がまぎれてしまったようにも思う。そのため、もう少し特徴のある活動ができれば、もっと禁煙を印象付けられたのではないかとも感じた。

来年度は、もっとみんなで話し合い、より良いアイデアが出せればよいと思う。（安藤）

ご協力ありがとうございました!!